

栃木言友会会報

交流会報告 No. 199

2019年9月1日

発行責任者：古川 元一

編集責任者：古川 元一

TEL:090-3138-1507

【目次】

表紙	「ふくろう」(Nハイランドパーク)	Y A P 1
巻頭言	S言友会	M N P 2
交流会報告	栃木言友会の皆さん	P 3~5
次回交流会案内		S S P 6



この栃木言友会会報は、赤い羽根共同募金会の助成金により発行しています。

栃木言友会は皆さんが自主的に主体的、

楽しく活動できるセルフ・ヘルプ・グループです

巻頭言

お寿司だけではありません！～金沢の魅力～

S言友会 M N

先日Tに行ってきました。大学で出会った吃音の友人に会うためです。家にホームステイをさせてもらい、本場のT料理を家族と食べたり夜景をみたりと充実した時間を過ごしました。

T語は挨拶程度しかできない私がTを楽しめたのは、吃音の友人のおかげですが、その前に、吃音があったからこそKに出会えたと思うと、いつも厄介に感じる吃音も、「あってよかったなあ」と感じるときもあるのです。

そんなKと出会ったのはI県K市に住んでいた時のことです。わたしにとってKは特別な場所です。最高に美味しい回転寿司、自然豊かなN、繊細なお菓子の数々…挙げれば切りがありませんが、それ以上に大きいのは、吃音だからこそ出会った仲間たちの存在です。

Kには、I言友会、UH、吃音のある子どもの保護者の会（Aの会）と沢山の集まりがありますが、どの集いもあたたかく、それぞれの会同士は繋がりを持ちながら活動をしています。どの会も私は大好きです。

高校生までの私は、言い換えを駆使して割と流暢に話していましたが、吃音の受容はまだ難しい段階にありました。そんな私ですが、どんな時もありのままの姿を認めてくれたKの人たちに支えられて今の私がいます。

今の私はどの場面でもどもり、何度も聞き返される事が増えました。それでも、今は自分のしたいことをしながら生きています。

これからの人生も、辛いときは1人で抱え込まずに、また逆に誰かが悩んでいるときには、一緒に考えて私のできることを精一杯行う、そんな風に支え合いながら生きていきたいです。

近況報告

日時：令和元年8月24日(土)

場所：とちぎ福祉プラザ 301会議室

時間：14:00～16:30

交流会 I・II 担当：T

参加者：S、T、古川 (敬称略) 合計3名

1. 近況報告3分間スピーチ(今年の秋の過ごし方)

S：皆様こんにちは。お久しぶりです。O市から参りましたSです。

一昨日の夜に帰宅し、昨日は言友会会報を拝読し、皆様の先月までの近況を知る事ができ、嬉しく思います。S言友会とのコラボの様子で、TさんとFさんとKさんの姿が写真で確認できたのも幸せな気持ちにさせていただきました。

お蔭様で8月4日の公認S士のK試験には参加することができ、2つの目当て①午前2時間、午後2時間試験を眠らないで受けること。②同じく、その間トイレに立たないこと。をクリアでき有難いです。

また、今までの学会大会参加の証拠をなくしたお蔭様で、Hに行き、息子家族と数日間過ごせ、フェリーにも乗れ、有難いです。

今年の秋は何をしますか。いろいろと、やる事がたくさんありすぎるので、一つ一つ片づけて行こうと思います。具体的に。

まず、必ず10月までにやることは、日本K学会認定Kの更新手続きを終了させること。今年、先日、Hの学会大会に参加し、必ず必要な領収書つき名札を紛失しないように持って帰って来たので、1万円の認定審査料を納め、滞納していた学会の年会費2年分1万6千円と、認定K会費2年分の8千円を納め、それとともに、年金以外で20万円くらいの収入を3か月で得られるように働くつもりでいます。

古川：8月16日(金)、栃木言友会で大変お世話になっている方とK駅前の飲食店で懇談をさせて頂きました。栃木駅まで移動してもよいですがと、私の身体にご配慮を頂くメッセージを頂きましたが、体調もよくリハビリを兼ね、K駅まで南下して来ました。

言友会以外にもたくさんの活動をされている方で、多岐にわたる話題提供に驚くと共に元気をたくさん頂いたことに感謝しております。

また、これからの栃木言友会活動方向にもとても貴重な意見を頂き、交流会などで皆さんと共有しながら議論を進めていければ良いと思っております。

7月から初めての転職になるのでしょうか、勤務先は今までと同じなのですが席を置く会社が変わっております。今までは労働組合員として後ろ盾があり、なんとなく

安心しておりましたが、今は違うので少し心配がある感じです。

6月の診察でMY剤を二種類使用しているが、錠剤のY剤を少しずつ減らし将来的にはなくしたいと話があり、8月の診察で薬が減ることを期待していたのですが、もう少し様子を見たいと話があり、少し残念です。やはり二種類のY剤を投薬していると体力的に厳しいので、少しでも薬が減ることを期待したいです。

今年夏は雨が多く、庭の草刈が大変です。そんなに広い敷地ではないのですが、今日はテラス前の庭、明日は玄関前の庭、週末は小屋の脇、来週は裏庭など朝30分ほど草を刈っておりますが大変です。

秋の過ごし方です。5月の気候のよいときに身体を動かさすぎて体調を崩してしまったので、これからの秋は人ごみを控えて映画など楽しみたいです。

T：4月から就いて職場、徐々に慣れてきました。定員30人の送迎バスの運転も週に2回位するようになりました。30年振りくらいです。運転ですが、何とかなっています。家から近いこと、定年の年齢は決まらず、体力の続く限り働けることなどが決めた一因でもあります。子供が何とかなりそうな年齢まで働こうかと思いません。

仕事をしてみると異業種からですので、覚えることが多いです。同僚の年齢は比較的高く、私など若い方に入ります。人間関係は結構良いです。

空き時間に雑談をすることがありますが、吃語が出る時があります。そんな時邪魔モノ扱いせず観察したり、聞き役に回ったりしています。

仕事の時間帯が不規則なので、その辺は気をつけて対応し、無理せず楽しくやっ
ていこうと思います。

今年の秋は小学時代のクラス会をK温泉で行うので、参加してきます。

42歳の時の大厄年から毎年幹事を交代で、開いています。小学時代のクラス会が一番まとまりが良いです。私が吃音を発症したのは小学低学年の時でした。

吃音を持ちながら現役を定年退職し、再雇用でも任期満了を迎えられた自分を少し褒めたいです。

4. 感想

T：少ない人数でしたが、その分中身が濃くできたと思います。

実践課題表はこれからも吃音改善研究会の方でも、利用していこうかと思っています。

古川：本日の交流会、お疲れ様でした。参加者が3人と少ない感じですが、皆さん定年退職組で交流会以外にもたくさん話題が出て有意義な時間でした。

研究会は、いつもTさんのご指導を頂くことで、話す時の心構えが自然とできているように思います。内容を確認する。聞き手を考え、言葉をしっかりかみ締めることでゆっくり話せ、あわてずにすみます。

話す前に余裕があると、自分の姿が見えるように思います。

交流会「自己管理の立て方」私にとっては、とても重要な内容です。自己M疾患で本来、身体をSやGなどから守る組織が自分の身体を攻撃している状態。

投薬で安定を保ち生活している状態なので、毎月同様に生活をしていく事を考えることの基本になると思います。

本日の交流会、残暑がきつい中参加してくださりありがとうございました。

S：人数が3人だけと考えるか、3人だからこそ、いろいろと共通の話題や深い話やたくさん質疑応答ができたと考えるかは人それぞれですが、私は後者のプラス思考で考えます。有難うございます。感謝します。ついでいます。

次回交流会は9月22日(日) 14時00分より交流会を開催します 会場はとちぎ福祉プラザ会議室です

9月はSさんが担当です。ご期待ください。

近況、交流会内容、感想も当日、またはメール（郵送）で、交流会終了後、3日以内に頂ける様ご協力よろしくお願ひします。

栃木言友会会費納入先、お近くの郵便局から

郵便局口座番号 00190-1-760304 口座名称 栃木言友会

10月27日(第4日曜日 会議室) 11月24日(第4日曜日 会議室)

次回交流会のお知らせ

日時・開催場所：9月22日（日）とちぎ福祉プラザ 2階 第1研修室
14時00分～16時30分 栃木言友会交流会
〒320-8508 宇都宮市若草1-10-6 TEL028-621-2940
1階の案内は栃木言友会交流会になっています

交流会内容：「吃音講座」 講師：S K 氏
「吃音の基礎的知識 -客観的に見た吃音-」(仮)

連絡先 〒329-4425 栃木県栃木市大平町新 1385-33 古川元一
携帯 090-3138-1507 E-mail:genyut@mocha.ocn.ne.jp
栃木言友会ホームページ <http://tochigi.sakkt.net/index.html>